

平成27年度全国学力・学習状況調査

「平成27年度全国学力・学習状況調査」が本年4月に市内小・中学校17校で実施されました。市教育委員会では、今後の教育施策や教育活動に役立てるため、市校長会の協力を得て、学力向上推進委員会を組織し、結果の分析を行いましたので、その概要を報告します。

図 学校教育課教育指導室（☎ 71・2461 FAX 71・2338）

教科の状況

【全体的な傾向と課題】

各教科の平均正答率をみると、中学校国語の活用力が全国や長野県とほぼ同じか少し下回ったものの、他は全国や県とほぼ同じか高い結果になりました。基礎的な知識・技能についてはおおむね身に付いています。各教科ともさらに活用力を伸ばしていくことが大切であると思われます。

【小学校の傾向と課題】

国語

言語についての基礎的な知識・技能は、おおむね定着していると思われる。文章と図とを関連付けて自分の考えを書くことや目的や意図に応じて書くことについては、さらなる指導の充実が必要であると思われる。

算数

基礎的な計算技能は、おおむね定着していると思われます。一方、割合や図形の活用力を問う問題については課題があり、数学的な考え方を伸ばすことが一層必要であると思われます。

理科

基礎的な自然事象に対する知識・理解はおおむね身に付いていると思われる。グラフや情報をもとに考察して分析することなど、科学的な思考・表現力を高めしていくことが重要と思われます。

【中学校の傾向と課題】

国語

語句の意味を理解し、文脈の中で適切な漢字を使うなどの基礎的な知識・技能はおおむね定着していると思われる。しかし、状況に応じて資料を活用して話すことや要旨を捉

えることなどに、課題が見られます。

数学

基本的な計算技能はおおむね身に付いていると思われます。また、資料の活用力に改善が見られました。一方、具体的な事象を数学的に解釈した上で処理したり、その結果を説明したりすることなどには課題が見られます。

理科

基礎的な知識・理解はおおむね身に付いていると思われます。しかし、事象が起こる理由を説明するなど、記述式の問題では無回答率が他の問題より高くなる傾向があり、課題が見られます。

生活環境や学習状況

【全体的な傾向と課題】

小・中学校ともに幾つかの項目

【中学校の傾向と課題】

「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」「自分には良いところがある」と答えた生徒の比率は、全国や県と比べると高い傾向が見られ、自尊心の高さが伺えます。一方、学習面では家で自分で計画を立てて、授業の予習や復習をすることについては、今後も支援が必要です。

調査結果の活用

市教育委員会と各学校は、調査を通して把握した児童生徒の実態を、今後の教育施策や教育活動に役立てていくために、関係機関と連携しながら、次のような取り組みを行います。

教育委員会は

- ① 全国学力・学習状況調査の分析から見えてくる児童生徒や学校の評価・課題を、日々の教育活動に生かせるように支援していきます。
- ② 基本的な生活習慣や家庭学習の一層の定着を図るため、市校長会・市教育会・市PTA連合会と協働で作成した「家庭学習のすすめ」の理解と活用を進めて

いきます。

- ③ 授業や学校生活、家庭学習などに見られる教育課題に対応していくために、市校長会や市教育会と連携して、調査・研究を行ったり、小・中学校間の教職員の交流や研修などを推進したりしていきます。
- ④ 指導方法を改善し、学習効果を高めるために、市費加配教員（市費により、教員の標準定数に加えて配置される教員）の配置について検討していきます。

学校は

- ① 基本的な生活習慣の形成と家庭学習の定着のために、市教育委員会や家庭、地域と連携をして取り組んでいきます。
- ② 児童生徒が授業や学校生活、家庭学習などについて自分の課題を知り、自ら改善していくことができるように、具体的な助言や支援をしていきます。
- ③ 自校の傾向や課題を把握・分析し、指導内容や指導方法の改善に生かしていきます。
- ④ 「児童（生徒）質問紙」や「学校質問紙」から見えてくる評価や課題を、日々の授業や教育活動に生かしていきます。



トピックス

正答率が高い傾向にある子どもの生活の様子

学力調査結果と学習状況調査結果のクロス集計を分析すると、小学校・中学校により多少の違いはありますが、次の項目などにおいて、正答率が比較的高いという傾向が見られます。

中学生に見られる傾向

- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- 読書が好きだ。
- 国語・数学・理科の勉強は大切だと思う。
- 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいとは思わない。
- 解答を文章などで書く問題は、最後まで解答を書こうと努力した。
- 家で、学校の授業の復習をしている。
- 1日当たりテレビ（コンピュータ、携帯電話やスマートフォン）のゲームをする時間が短い。
- 本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館に行く頻度が高い。
- 家の人が、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。

小学生に見られる傾向

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だ。
- 読書が好きだ。
- 国語・算数・理科の勉強は大切だと思う。
- 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいとは思わない。
- 解答を文章などで書く問題は、最後まで解答を書こうと努力した。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて、ねらい）とまとめを書いている。
- 家の人と学校での出来事について話をする。
- 家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。

※調査結果の詳細は、市ホームページ、または市教育委員会（3階7番窓口）でご覧いただけます。

